

手荷物積付作業の生産性向上についての検討

航空局 航空ネットワーク部

空港技術課

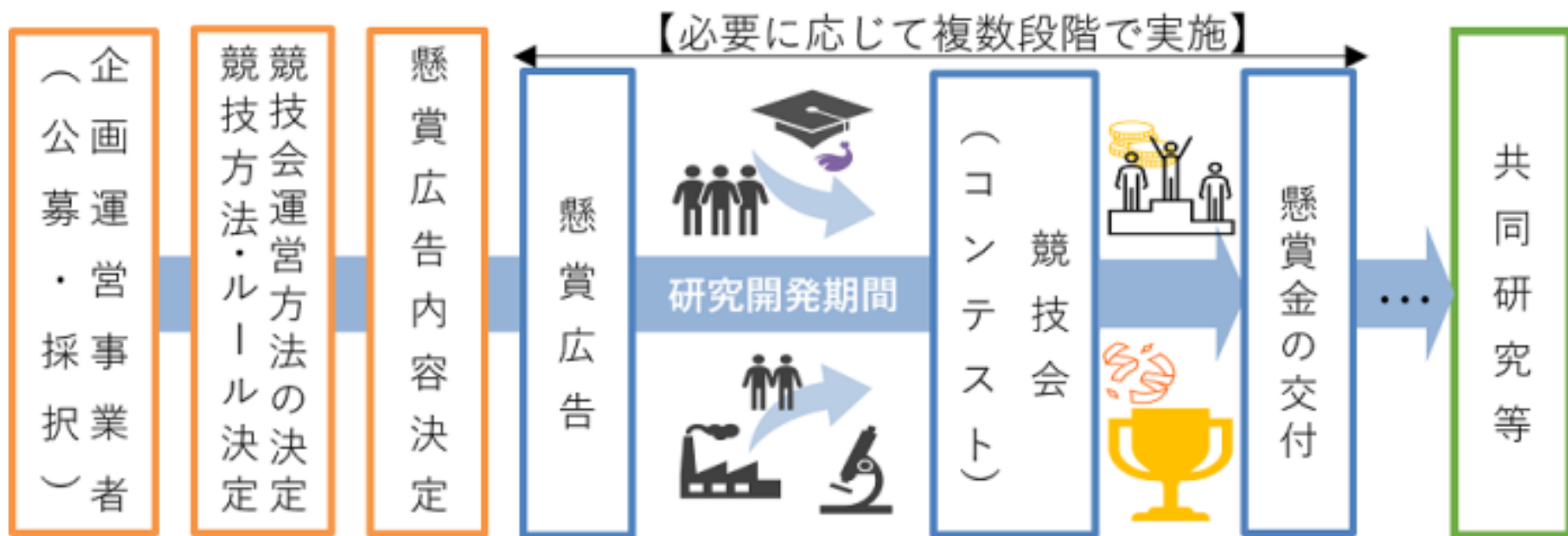
令和8年3月4日



1.NEDO懸賞金事業の現状

NEDO懸賞金活用型プログラムの目的

- 従来の委託・補助型研究開発事業は、状況変化への柔軟な対応や成果確保に課題があったのに対し、懸賞金型事業は成果達成を受賞条件とするためインセンティブが明確で、海外でも実効性が示されている。
- NEDO懸賞金活用型プログラムは、技術課題の解決に資する多様なシーズをコンテスト形式で募り、実証可能性や社会実装ポテンシャルを基準に有望なシーズを早期発掘し、共同研究や事業化につながる機会を創出することを目的としている。



NEDO懸賞金活用型プログラムのスキーム
https://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP_100268.html

※共同研究等とは、民間企業が大学・公的研究機関等に対して共同研究費等を提供するものに加え、応募者と他の企業や大学・公的研究機関等との間の秘密保持契約(NDA)や覚書の締結、自治体調達の契約、国によるガイドラインの策定等を含む。



- 手荷物積付作業について、NEDO懸賞金活用型プログラムでの開発を行った後、空港外・空港内での実証（磨き上げ）を経て、実装へと進めていく。

